

JOURNAL

2023 vol.73

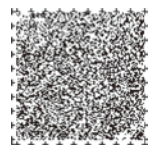


特集 令和5年度の事業計画

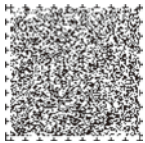
事業報告

男女共同参画サポーター養成講座※ 他

※今回の表紙は、2月4日養成講座終了後、
受講生に今後の活動目標をお聞きした様子です(関連記事はp2)



男女共同参画
養成講座



事業紹介

男女共同参画サポーター養成講座 クイズや寸劇で「男女共同参画」をより身近に!

1/21より全3回

210・211 研修室

市民の方が講師となり男女共同参画を地域に推進する「男女共同参画サポーター」の養成講座を実施しました。その中の一部を公開講座として、独立行政法人国立女性教育会館理事長の萩原なつ子さんをお招きして、これからの男女共同参画社会についてお話いただきました。2期生となる受講生のみなさんは、基礎知識や寸劇など講座で学んだことを地域で活かせるよう取り組みました。



学び

男女共同参画社会へのあゆみと久留米市の政策について説明を受けた後、アンコンシャスバイアスについてワークショップをおこないました。地域の課題探しでは身の回りにある問題について意見を出し合いました。また現在活動中のサポーターによる実演を観たあとは、セリフの覚え方など現役サポーターと意見交換をしました。

実践

「人前で話す」プレゼンテーションでは、主語と述語を明確にはっきりとした発音で話すことや、話すスピードに変化をもたせ視線は会場全体に視線を向けているかなどを意識することを学びました。最後はグループでクイズのやり方を練習し説明をする人など役割を決め、みなさんの前で発表しました。

参加者の声

- ・小さくても自分の周りから伝えること、気づいた人、学んだ者の責任として人に伝えることが大事。
- ・知識がない→勉強することで補う。具体的に行動できないことがない→サポーター養成講座を受講したので、今後出来る限り男女共同参画に多く関わっていきたくて考えています。
- ・皆さん1人ひとりが自立して生きる事の大切さと、データなどの事実を伝える事が大事だと思いました。

事業紹介

男女共同参画サポーター養成講座 公開講座 明日の地域をデザインする ~私から私たちへ~

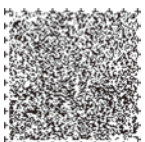
1/28

210・211 研修室



独立行政法人国立女性教育会館
理事長 講師 **萩原なつ子さん**

これからの地域をデザインするにはダイバーシティ（多様性）と Well-being（ウェルビーイング）が大事です。Well-being とは社会的な幸福を測る指数のことで、例えば人間関係の幸福度や心身の幸福度、地域社会の幸福度などをいいます。ハッピーは瞬間的な幸せですが、Well-being は持続的な幸せです。社会が多様化する中、生きづらさを感じた時、「つながり」が大事になります。「つながり」とはいざというときに自分の困りごとや悩みを共有し解決の糸口を一緒にみつけてくれる関係性をいいます。地域の幸福度はそのような「つながり」と「かかわる力」や「思いやり」などを意識することで生きやすい社会となります。



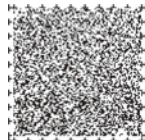
参加者の声

- ・広い範囲で男女参画のこと、つながっている事これまでの社会の中の女性の中の位置づけ等、どれも興味深かったです。
- ・一人ではない、Well-being で守られているという実感があることに気づきました。



女性のまちづくり参画講座

7/7・10/6



南校区コミュニティセンター

地域活動や PTA 等で活躍する女性を増やしていくために、会議参加時に役立つスキルや地域内でのネットワークづくりを支援する講座を行っています。今年度は、安武校区、南校区、山川校区で開催しました。南校区での初回の様子をご紹介します。

7月7日朝、参加者のみなさんがコミュニティセンターに集まりました。机の上には模造紙やマジックがあり、いつもの座学とは違う雰囲気です。前半は、NPO 法人福岡ジェンダー研究所の倉富史枝さんから、久留米市の男女平等の現状について学びました。後半は、班に分かれて「あなたが住みやすいと思うまち、住みたくなるまちってどんなまち？」や「校区のいいところ、気になるところって？」などを話し合いました。住みたい地域にするには何が大事でどのようなことが必要なのかたくさんの意見が出て、その情報をみんなで共有しました。それを実現させる第一歩として、七夕にちなんで短冊に「理想の南校区像」を書き、笹に飾り付けました。



参加者の声

- ・南校区について様々な意見が出ました。過ごしやすい良い町にするという思いは、皆同じだと感じました。こういう機会はありがたいと思います。
- ・皆さんいろいろな活動をなさっている事が分かり、私もプラス指向でこれからやっていきたいと思いました。



次世代男女共同参画促進事業 これからの自分をデザインする（学生と社会人のワールドカフェ）

11/12

久留米商工会館

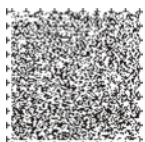
学生と社会人のワールドカフェを3年ぶりにオンラインではなく会場開催しました。各テーブルに社会人1人と学生数人が座り、気軽に聞いたり、話したりすることができるトークイベントです。

福岡女子大学准教授の和栗百恵さんを講師に、これから社会人となる学生に「キャリアの考え方」や「男女平等の現状」についてお話いただきました。その後テーマごとに話し合い、「働くことへの不安」や「壁にぶつかった時、どう乗り越えたか」など学生からの質問に対し社会人も本音で応えていました。最後に心に残った言葉やなりたい自分など発表してもらいました。



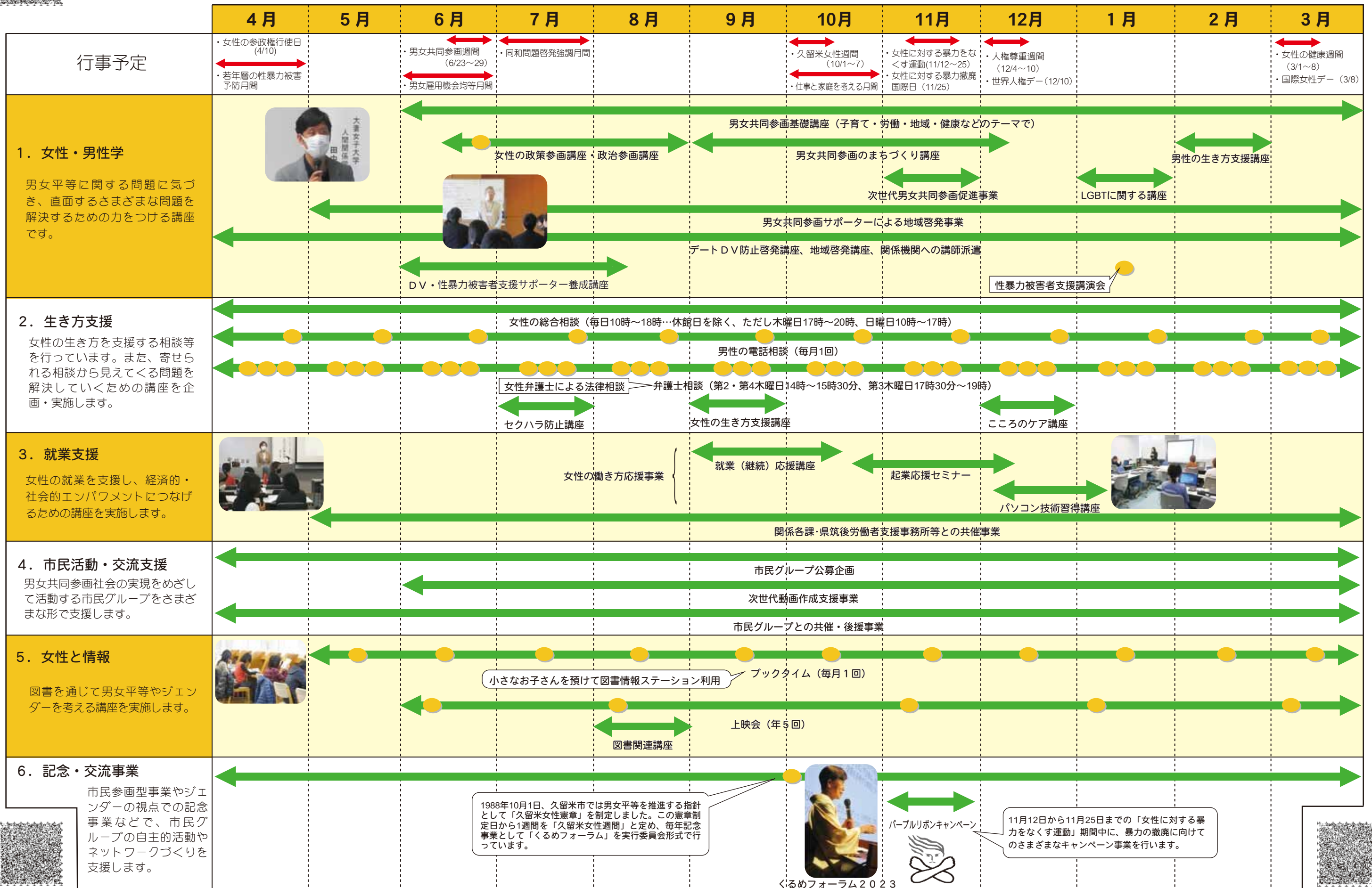
参加者の声

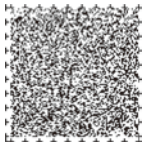
- ・自分とは違う価値観を持っている人と話すことができ、視野が広がりました。
- ・育休などについても知ることができて、これから社会に出る上でどう働いていくかを深く考えるきっかけになりました。
- ・何のために働くのか今答えを出してもいいけど、環境が変わったり家族ができたりと変化していく中でその答えに縛られずに価値観も変えて、その時にベストを尽くせばいいと感じました。
- ・自分の中で want to が生まれた時、失敗を恐れず自信を持ってとりあえずやってみることが大切だと感じました。



令和5年度 男女平等推進センター事業計画

久留米市男女平等推進センターでは、今年度もさまざまな講座やイベントを企画し実施していきます。新しい発見、新たな出会い。これからの生き方のヒントが見つかるかも?!
ぜひセンターの事業に参加してみませんか!





女性の「働き方」応援事業

210・211 研修室

就職応援セミナー
10/29・11/5

起業応援セミナー
11/26 より全5回

働く意欲を持つ女性が自分のライフスタイルに応じていきいきと働きつづけられるよう、女性の社会的・経済的な自立を促進する「就職」・「起業」応援セミナーを開催しました。

女性の就職応援セミナー

これから働く女性や転職を考えている女性を対象に全2回で開催しました。1回目は、企業が求める人材などについて久留米市内の3社とのトークディスカッションや就職前に知っておきたい保険制度や価値観を考えるワークを行いました。2回目は、自分の強みの見出し方・活かし方、面接の受け方や自分の伝え方について参加者同士のワークも交えて学びました。



就職活動に参考となる資料も配布しました

女性の起業応援セミナー

起業を考えている、起業して間もない女性を対象に全5回で開催しました。「起業とは」といった基礎的な内容から始まり、起業に必要なお金、価格設定や数字目標の立て方、SNSを活用した販売促進などについて学びました。最終回では、受講者全員が作成したビジネスプランの発表を行いました。また、セミナー修了後には、今後も受講者同士で起業に向けて学ぶグループができました。



最終回でのビジネスプラン発表の様子

協力：久留米商工会議所、日本政策金融公庫久留米支店

参加者の声

- ・「自分の強みやできる事などない」と思っていたのですが、今日話を聞いて、これから周りの人に聞いてみたり書きだしてみようと思います。仕事や日常に前向きになれた講座でした。(就職応援セミナー)
- ・事業計画を何となくではなく、実際に活用できるところまできちんと作成することが出来たので、自信を持って前に進むことができます。(起業応援セミナー)



就業支援講座 女性のためのパソコン技術習得講座

210・211 研修室

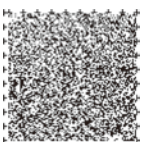
エクセル基礎講座
11/8 より全3回

日商PC3級検定対策講座
11/16 より全9回

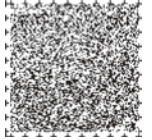
就職、再就職、転職、ステップアップ等を目指している女性を対象に、仕事で活用できるパソコン技術（エクセル）の基礎を習得する講座を実施しました。また日商PC3級の取得を目指す講座も開催しました。

参加者の声

- ・エクセルを初めてさわったので少々追いつけない部分もありましたが、質問にも親切に答えていただいたので、理解はできました。
- ・とても分かりやすく、実際に仕事で使えるようなことも教えていただき助かります。
- ・子育てをしながら、自分のしたい学習ができるのでありがたいと感じます。



男女共同参画社会づくり表彰 3 団体が受賞



2月20日、本庁舎で「男女共同参画社会づくり表彰」の表彰式が行われました。この表彰は地域の男女共同参画社会づくりに貢献し、市民の規範となる人または団体を称えるものです。男女共同参画社会づくりの優れた取組を積極的に発信し、市民の関心と意欲を高め、その実現を目指します。

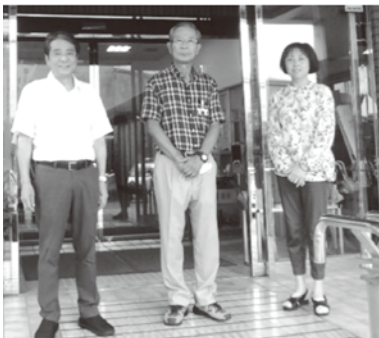
令和4年度は、女性役員の増加率が46校区中1位だった「安武校区まちづくり振興会」と中学校や高校でデートDV防止啓発講座を実施している「NO! SH(ノッシュ)くるめ」、フードドライブ活動で母子世帯などの孤立や孤独を防止している「ボナペティ」の3団体。

安武校区まちづくり振興会の原寛会長（写真左から4番目）が受賞者を代表し、「男女共同参画を進めることで、地域の絆と安心安全が一步進むと思います。これからも、具体的に取組を進めていきたい」と話しました。



問 協働推進部男女平等政策課
電話：0942-30-9044
F A X：0942-30-9703

受賞内容の紹介



安武校区まちづくり振興会の皆さん

安武校区まちづくり振興会

男女平等推進センター主催の「女性のまちづくり参画講座」に、モデル校区として参加し、男性も含めて延 56 人が参加するなど、男女共同参画の視点でのまちづくりに取り組んでいます。また、令和3年度は、8人中0人だった女性役員が、令和4年度には3人に増加し、その増加率は、46校区中第1位となっています。

NO! SHくるめ

平成19年に、「デートDV防止のための啓発プログラム」を開発しました。中学校、高等学校等においてデートDV防止講座を実施し、被害者にも加害者にも傍観者にもならない意識づくりを推進しています。また、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、幅広い世代に向けた各種啓発講座を開催するなど、「DV防止」「性暴力防止」に向けた積極的な教育や啓発に寄与しています。



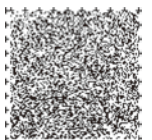
生徒に語りかける平岡代表

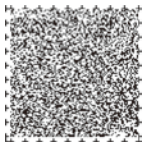
ボナペティ

市内のフードドライブ等の団体に先駆けて、平成26年から活動を開始し、子どもの食と心の貧困を解決すべく、生活困窮世帯等に食材を提供しています。また、困窮状況や支援の必要性を広く啓発することで、多くの個人や団体等の協力を繋がっています。支援する約100世帯の9割が母子世帯であり、困難を抱える女性の孤立や孤独を防止し、継続した社会参加支援に貢献しています。



企業から食材などを受け取る佐藤会長





新聞記事に見るストーカー事件

2023年1月16日、福岡県博多駅近くで女性が元交際相手から殺害されるという事件が起きました。

新聞記事によると被害者は、福岡県警に何度も相談しており、県警はストーカー規制法に基づき加害者に緊急の禁止命令を出しました。しかし、加害者は逆恨みをし、最悪の結果となってしまいました。

ストーカー行為とは？

「ストーカー行為」とは、好意の感情、又はその感情が満たされないことに対する恨みなどの感情から、相手に対してつきまとい等を反復して行うことをいいます。

警察庁の調べによりますと、令和3年におけるストーカー事案の相談件数は、全国19,728件で、そのうち、福岡県警が受理した相談件数は1,471件と、3年連続で全国最多となり、全国平均のおよそ3倍となっています。

ストーカーを取り締まる法律として2000年1月に「ストーカー規制法」が施行され、これまでに3度の改正が行われています。

ストーカー行為として規制の対象となるのは、つきまといだけではなく、待ち伏せをする、家に押し掛ける、拒まれたにも関わらず何度も電話をかける・何度も文章を送る、GPS機器等による相手の位置情報の無断取得などもあります。

ストーカー被害も相談室へ

法律は整備されつつありますが、禁止命令を受けた加害者が、逆恨みした今回のようなケースもあとを絶ちません。禁止命令発令後の被害者の安全確保は、非常に重要です。

上記のようなストーカー被害にあっている方は、相談室にご相談ください。私たち相談員は受容、傾聴のみならず、警察、弁護士事務所などへの同行支援も行うなど、寄り添いながら必要な支援を行います。お気軽にご相談ください。



新着図書を紹介

図書情報ステーション

最近の新着図書からお勧めの本を紹介します。貸出中の場合は予約ができます。詳しくは図書情報ステーションまでお尋ねください。電話0942-30-7801

【開館時間】月曜～土曜日10:00～18:00、日曜日10:00～17:00
【休館日】月の末日、第2・第4木曜日、国民の祝日・休日、年末年始・特別整理期間

家事は大変って気づきましたか？

阿古 真理 / 著 垂紀書房 2022.10

内容紹介：時代が変わっても、家事はラクになっていない。明治から令和まで、家事と仕事の両立を目指してきた女性たちの歴史、それぞれの時代の暮らしと流行を豊富な資料で解き明かし、家事に対する人々の意識の変遷を読みとく。



選択的夫婦別姓は、なぜ実現しないのか？ 日本のジェンダー平等と政治

ジェンダー法政策研究所 / 編, 辻村 みよ子 / [ほか著] 花伝社 2022.12

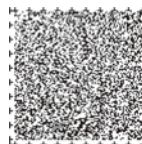
内容紹介：選択的夫婦別姓を阻むものは何か。この国のジェンダー平等は、なぜ進まないのか。現在の法制度の問題点から各政党の最新動向、自民党政権の「価値観」まで、ジェンダーの視点でいまの日本政治を総合的に検証する。



男が辛い！ 資本主義社会の「弱者男性」論

杉田 俊介 / 著 ワニブックス 2022.10

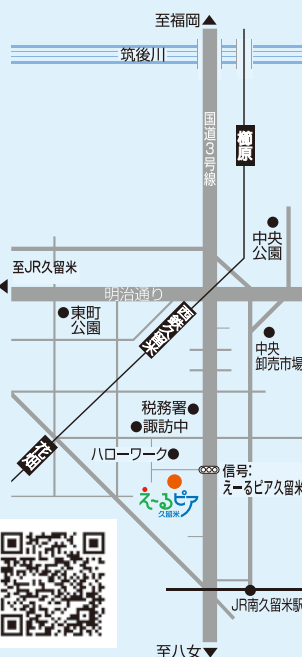
内容紹介：冴えない、裕福でもない、特別な才能もない平凡な人生をそこそこ幸福に生きていく。新しい生き方のモデルとは。“男らしさの呪縛”にかかった「弱者男性」たちの叫びと救いの書。



●編集・発行●
令和5年3月

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037
久留米市諏訪野町1830-6
えーるピア久留米内
TEL. 0942-30-7800
FAX. 0942-30-7811
URL. <https://www.city.kurume.fukuoka.jp>
E-mail. danjo-c@city.kurume.lg.jp



- 徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)
- バス/西鉄久留米駅から約5分
JR久留米駅から約20分
「税務署前」下車、徒歩5分
- 駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この広報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。